

Photo fair

Daikanyama Hillside Forum



Dates: Sep 30(Fri) — Oct 2(Sun), 2016
11:00 – 21:00 (11:00 – 17:00 on the last day)
Site | Daikanyama Hillside Forum, Hillside Plaza
Organizer | Fine-Art Photography Association
fapa.jp ©Kikuji Kawada 2016

30 September – 2 October, 2016

PRESS RELEASE Vol. 3
September 20, 2016

fapa book vol.3

「遠い場所の記憶：1951-1966」川田喜久治



Kikuji Kawada, "Advertising, Yurakucho. 1960" © Kikuji Kawada

、、、 レンズ自体、過去と未来をのぞくマシンにかわりありません。望遠鏡も顕微鏡も、私たちの眼を想像的に複眼にするものです。ネガからポジへと、記憶の始まりを化学の暗がりから新たな幻影へと誘ってくれたのです。

——「遠い場所の記憶：1951-1966」川田喜久治

第三回目となる代官山フォトフェアに合わせ、川田喜久治「遠い場所の記憶：1951 - 1966」が刊行されます。本作には、1951年から1966年という、川田が写真家としてのスタイルを確立した最初期の作品群が纏められています。フォトフェアのメインビジュアルにも使用され、アサヒカメラ月例にて木村伊兵衛、土門拳に評価され、写真家としての出発点となった作品から、未発表の作品まで、激動の時代を川田ならではの図像によりとらえた写真集です。「過去の記憶だけでなく、未来への記憶もそこに潜んでいることを知らせてきます。ここで未視感と既視感も体験できるのです。この累々たる写真がリアルなイメージをなげかけて来るのはそのようなときなのです。時代も場所も超えて。」と

daikanyama photo fair

PRESS RELEASE Vol. 3
September 20, 2016

語る川田喜久治の「写真のはじまり」の中に、過去、現在、未来の三つの記憶となる世界が広がります。巻末には、作家による原稿および、東京国立近代美術館のキュレーター増田玲の寄稿を日・英併記にて収録。

写真：川田喜久治

テキスト：川田喜久治、増田玲

デザイン：田中義久

判型：230 x 180 mm. 頁数：304頁, 本文：192点, 製本：ソフトカバー, 発行年：2016, エディション：1000部

制作：FAPA（日本芸術写真協会）、発行：Case Publishing

荒木経惟『非日記 (Non-Diary Diary)』

スペシャル エディション

2014年、荒木経惟は、カルティエ現代美術財団創立30周年プログラムのため、ウェブサイト上で限定公開する、数々の写真によるスライドショーを制作しました。この度、限定エディションとして、20点が選ばれ、FAPAにより制作、発行されることとなりました。

同エディションは、フェア会期中、荒木経惟スペシャルボックスとして限定販売されます。



©Nobuyoshi Araki

問い合わせ / Contact

代官山フォトフェア実行委員会

〒106-0032 東京都港区六本木6-6-9 2F Tel: 070-1442-0501 / 070-1410-0501 E-mail: info@dpf.tokyo

プレス / Press: press@dpf.tokyo

イベント / Event: event@dpf.tokyo

ウェブ / Web: www.fapa.jp

Follow dpf on Facebook (facebook.com/daikanyamaphotofair), Twitter (twitter.com/dpf_jp), and Instagram (instagram.com/dpf_jp).